

『強磁場磁石の今とこれから』

強磁場磁石は、超伝導技術がその支えの一つとなり、広く研究開発に利用されている重要な研究用実験機器です。本研究会では、現在の「強磁場磁石」の最先端に関して、各方面の研究開発最前線にいらっしゃる先生方にご講演いただきます。オンライン開催の利点を生かし、海外の先生にもご講演いただきます。パルス磁場の世界最高1200Tや高温超伝導を用いた世界最高の45.5Tの話題もして頂きます。多くの皆様のご参加をお待ちしています。



■ 主催: 応用物理学会 超伝導分科会

■ 日時: 2020年12月23日(水) 13:00 ~ 17:20 オンライン開催 (Zoom)

プログラム (講演タイトルは仮題を含む)	
13:00~13:05	開会挨拶 Opening remarks 超伝導分科会幹事長 Head of Superconducting division of JSAP
13:05~13:55	【特別講演】 Recent Progress and Technical Issues in High Field REBCO Magnet Seungyong Hahn (Seoul National Univ.)
13:55~14:25	小型超伝導コイルの可能性 Prospect of small superconducting coils 野尻 浩之 (東北大) H. Nojiri (Tohoku Univ.)
14:25~14:55	超強磁場マグネット -パルス磁場発生とその応用- Super high field magnet -Pulse filed and its application - 中村大輔 (東大物性研) D. Nakamura (ISSP, U. Tokyo)
14:55~15:15 休憩	
15:15~15:45	加速器用マグネットにおける高温超伝導の可能性 Prospect of HTS for accelerators 雨宮 尚之 (京都大) N. Amemiya (Kyoto Univ.)
15:45~16:15	核融合応用 -先進核融合炉のための高温超伝導開発- Fusion - HTS developments for advanced fusion reactors 柳 長門 (NIFS) N. Yanagi (NIFS)
16:15~16:45	高温超伝導コイルを用いた超高磁場 NMR マグネットの開発動向 Prospects of super high field NMR magnets with HTS 柳澤 吉紀 (理研) Y. Yanagisawa (RIKEN)
16:45~17:15	MRI 応用 MRI 和久田 毅 (日立) T. Wakuda (Hitachi)
17:15~17:20	閉会挨拶 Closing 超伝導分科会幹事 Organizer

参加費 (消費税込) : 超伝導分科会会員 2,000 円、応用物理学会会員 3,000 円、学生 1000 円、非会員 4,000 円

申し込み方法 : 超伝導分科会 HP 内<<https://annex.jsap.or.jp/support/division/super/>>の研究会参加申込フォーム (上記の QR コード) からお申し込み下さい。12月18日(金)が締め切りとなりますが、会議システム契約の都合上、申込上限があります。上限に達した場合は先着順で締め切りとなりますのでご注意ください。

申込・問合せ先 : 淡路 智 (東北大) e-mail: awaji@imr.tohoku.ac.jp、小黒 英俊 (東海大) e-mail: h-oguro@tsc.u-tokai.ac.jp、齊藤志郎 (NTT 物性基礎研) e-mail: shiro.saito.bx@hco.ntt.co.jp、山梨裕希 (横国大) e-mail: yamanashi-yuki-kr@ynu.ac.jp